

効果的な捕獲その2_1 わな装置の適切な運用 ~箱わな編~

(基本姿勢は「学ばせず、焦らず、逃さず」、親子丸ごと捕獲で被害を断つ!)



- ・箱わな捕獲の主な対象獣種であるイノシシを例に、被害を及ぼす個体（群）を確実に捕獲する方法について解説します。

1. 箱わなが避けられる原因 ~半端な捕獲が「頭のいい」イノシシによる被害を増やしています~

●幼獣ばかり捕っても…



半端な捕獲ばっかしてると被害は続くよどこまでも♪

独立前の修行だ
オイラはこっち荒へらそっと♪



若い雄は秋頃から次第に別行動

安全なトコ食べて増えましょ♪



雌同士は親子で長期間行動
(大群になる恐れも)

●一部の幼獣と成獣が残っても…



箱わなで確実に捕獲する方法は裏面に

- ・箱わなは避けるものと学習した「頭のいい」イノシシが増加し、親子で被害を増やし続けます。

- ・再び幼獣を得た成獣や、半端に生き残った親子が別の地区に移り被害が拡大する可能性もあります。

2. 慣らして親子丸ごと捕る！～イノシシ親子が箱わなを工サ場にするまでが我慢のしどころ～

捕獲までの流れ（1）工サ場の制限



設置直後の箱わな
※けり糸はイノシシが
慣れてから仕掛けま
しょう。

箱わな本体には標識
を必ず掲げましょ。

土盛り



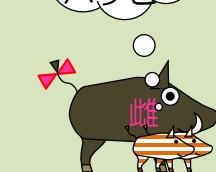
（2）箱わなへの誘導、慣らし

工サ道だ
先には何が
ある？



①獣道の上にエサを置き、箱わなに誘導
※エサは持ち帰れない米ぬか等、食べているか確認を！

ここが
エサ場♪
ハッピ



わなにもよせエサ

確認の便利道具
無人カメラ
中部振興局所有機



慣れきったら
エサは箱わな
の一一番奥に

エサは最初入口付近に置き、慣れるに従い奥へと移動
②親子とも箱わながエサ場☆と認識
※この状態まで根気強く慣れさせることが成功の鍵☆

（3）けり糸を仕掛け留め具を外し、
いよいよ捕獲の実行！

留め具
を除去



けり糸
が作動



親子全部箱わなに入る（住み着く）よう
になって初めてわなが作動するよう設定

厄介な親子
を丸ごと

閉鎖！

みごと一網打尽、被害も封殺☆

- ・箱わなを「危険物だ！」と学習した「頭のいい」イノシシを増やさないことが、親子丸ごと捕獲の要点です。
- ・イノシシは好んで箱わなに接近しません。箱わな（及び獸道）にしかエサがない環境を作り、箱わなの近くに行かせることが重要です。
- ・獸道沿いや箱わな内によせエサを定期的に確認し、減り具合が悪い、または腐ったまま放置されている場合は置き方を変えてみましょう。
- ・捕獲後の死傷事故防止のため、箱わなの運搬や止め刺しは複数人で慎重に行いましょう。

お問合せ先：大分県中部振興局 大分市大手町3丁目10番1号（大分県庁舎別館4階）

農業被害・集落環境対策 生産流通部

林業被害対策・狩猟免許 農山漁村振興部森林管理班

電話（代表）097-506-5796

電話（直通）097-506-5749